

「地域を愛し、自分で考え 自分で行動する子ども」を育てる

コミュニティ・スクール 通信

令和4年度 第1号 4月27日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博



この通信では、日の里学園が進めている「小中一貫コミュニティ・スクール」について、児童生徒の交流活動や地域と関わる学習活動を中心にお知らせいたします。

「日の里学園歓迎遠足」

4月22日（金）に、①新入生を歓迎し小中学生の親睦を図ることと、②9年生の最上級生としての自覚を高めることを目的に、日の里学園の児童・生徒が一堂に集う年に一回の大きな行事、「日の里学園歓迎遠足」をコロナ感染対策に配慮しながら行いました。コロナの影響でこの2年間は学園全児童生徒が集まれませんでしたが、この日は天候にも恵まれ、3年ぶりに3校の児童生徒（972人）と教職員が宗像ユリックスの芝生広場に集いました。

9年生がこの行事を経験したのは3年前の小学校6年生の時でした。生徒会役員もその頃の先輩の9年生の姿を思い出しながら、リーダーシップを発揮しました。コロナ対策として小中学生と一緒に昼食を楽しむことはできませんでしたが、学園全体で、新入生133人を心から歓迎し、1年生から9年生までの混合グループで答えを相談し合う「〇×ゲーム」をして、楽しい時間を過ごすことができました。



上の写真は、9年生のリーダーが挨拶をしている場面とレクリエーションの「〇×ゲーム」を楽しんでいる場面です。「〇×ゲーム」では、右のような問題が出されました。保護者の皆様は全問正解できますか？答えはぜひお子様にお尋ねください。

当日出された「〇×ゲーム」

- ① 日の里には、バス停が全部で15個以上ある。
- ② 日の里団地の最盛期には、約20,000人が暮らしていた。
- ③ ひのたんの顔には4色が使われている。
- ④ 塩のカロリーはゼロである。
- ⑤ 日の里には4種類のコンビニがある。

この歓迎遠足での交流を通して、学園の子どもたちのつながりをさらに深めることができました。また、9年生はリーダーとしての自覚を高め、1～8年生は9年生の姿にあこがれの気持ちをもつことができたと思います。17年目を迎えている日の里学園小中一貫教育のよき伝統をしっかりと引き継ぐことができたと感じました。